

留学就職促進 プログラム とは

文部科学省の委託事業で、外国人留学生の日本国内での定着を図るものです。事業年度は最大5年間(2017~2021年度)

ねらい

留学生就職促進プログラムは、「外国人材の我が国企業への就職の拡大」を目的に、文部科学省が大学に委託する事業です。外国人留学生の日本国内での就職率を、現状の3割から5割に向上させることが目標となっています。

大学は、地域の自治体や産業界と連携し、国内・日系企業の就職に重要なスキルである「日本語能力」「日本での企業文化等キャリア教育」「中長期インターンシップ」を一体として学ぶ環境を創設する取組を展開します。

実施内容

- ① 教育プログラムの開発実施
- ② 近隣大学の学生も参加できる就職セミナー等の開催
- ③ 上記①の、可能な範囲(遠隔授業等)でのコンソーシアムに参加する他大学の学生への開放
- ④ 外国人留学生受入れ経験の少ない企業への支援
- ⑤ 持続可能な仕組みの構築

教育プログラムの開発実施

ビジネス日本語教育

ビジネス現場で必要とされる日本語の運用能力に関する講義の開発実施。最低限、最終学年時の日本語能力試験(JLPT)N 1相当の能力獲得は必須。

キャリア教育

主として企業人による、日本企業での働き方・キャリアパスの講習、日本企業で働くことの意義に関する講義の開発実施。次に掲げるインターンシップ・プログラムと連動した計画となっていること。

インターンシップ・プログラム

主として中長期(1か月程度)となるようなインターンシップ・プログラムの開発実施。

実施拠点(12拠点)

北海道大学、東北大学、山形大学、群馬大学、東洋大学、横浜国立大学、金沢大学、静岡大学、名古屋大学、関西大学、愛媛大学、熊本大学

教育カリキュラム グローバル・ リーダーシップ・ プログラム

特徴 ①

留学生就職促進プログラムを総合的に推進

留学生就職促進プログラムを総合的に推進

「県内定着」を志す優秀な留学生を育てるアプローチと、留学生の「採用・定着」を希望する県内企業を増やすアプローチの、2つのアプローチで取組を展開します。

「定着」を志す 優秀な留学生を育てる		留学生の「採用・定着」を 希望する企業を増やす	
取組1	ビジネス日本語教育	取組5	「地域対応型」インターンシップ部会
取組2	キャリア教育		「業界対応型」インターンシップ部会
取組3	インターンシップ・プログラム		
取組4	留学生就職促進啓発セミナー		

※取組1～3は、希望すれば(履修し)単位が取得できる大学もあります。今後、その仕組みを拡充する予定です。

※取組5は、企業と学生との就職ニーズのマッチングを図りながら、留学生採用につながるインターンシップの仕組みづくりを協議する部会です。

「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクトHP
<https://gllp.hess.gunma-u.ac.jp/ghkg-shushokusokushin/>



教育カリキュラム
グローバル・
リーダーシップ・
プログラム

特徴 ②

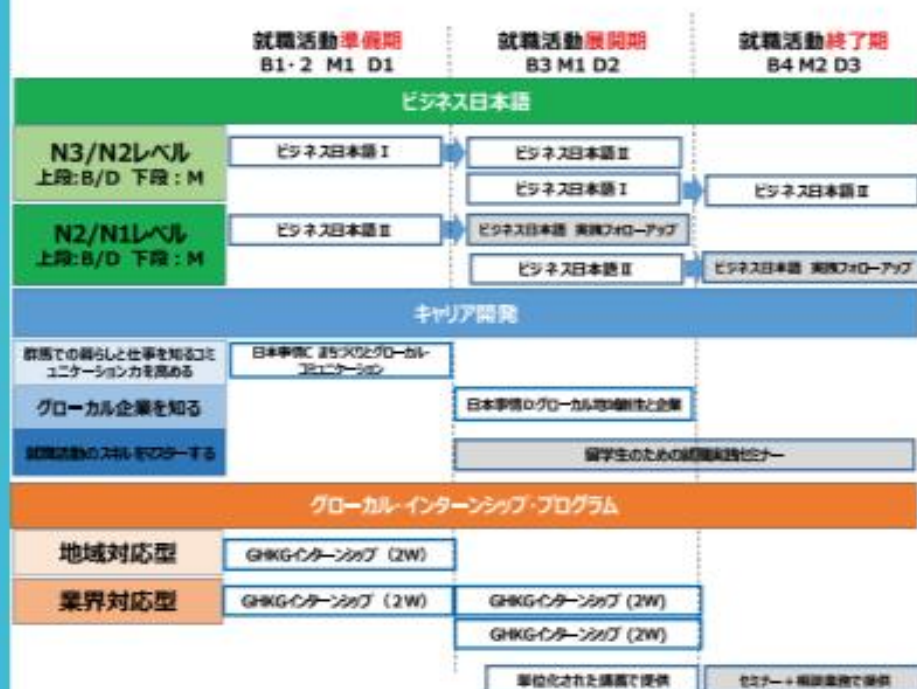
留学生就職促進プログラムを留学生の準備状況に応じて段階的にサポート

留学生就職促進プログラムを留学生に合わせて段階的に推進

留学生の日本での就職活動の準備状況は、留学生の学年によっても、個人によっても多様です。そこで、留学生の就職準備状況に応じて、段階的に教育カリキュラムを受けられるようにしています。

対象となる留学生を就職活動の3つの段階に分け、

- ①就職活動準備期
学部1～2年、博士進学予定の修士1年、博士1年
 - ②就職活動展開期
学部3年、修士1年、博士2年
 - ③就職活動終了期
学部4年、修士2年、博士3年
- それぞれの学年にあった教育内容を提供しています。



また、本プログラムに途中から参加する留学生については、本プログラムのコーディネーターが、ひとりひとりの留学生に面接をし、準備状況をカウンセリングし、それぞれの留学生にあわせて、本プログラムに参加できるように、サポートしています。



Glocal Hatara-KurasuGunma Project

教育カリキュラム
グローバル・
リーダーシップ・
プログラム

特徴 ④

留学生と日本人学生が切磋琢磨する
ピア・サポート
方式を活用

本プログラムの人財の養成方法(2頁)に示したとおり、**あたりまえから脱却する方法としてのエスノグラフィの活用とダイバーシティ対応型コミュニケーションの推進**は、本教育カリキュラムにとって不可欠な要件です。

そこで、生まれ育った文化や社会が異なる留学生と日本人学生が、ともに同じ活動でチームとなって、フィールドワークをしたり、意見交換をしたり、地域の課題解決のための提案をする場面を組み込んでいます(※)。

留学生と日本人学生は、それぞれ異なる授業で理論と方法を座学で学んだ後で、共通する活動実践の場で、それぞれが学習したことを実践に展開していきます。自分にとってのあたりまえを問い直し、人的多様性に配慮した相互理解・相互尊重の視点から、伝え合い・話し合う力を育てています。

※「ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」と「グローバル・インターンシッププログラムⅡ」の一部(留学生専用インターンシップ)を除く全てのカリキュラムで実施。

留学生	日本人学生
コミュニケーションカ	ダイバーシティ社会を生きるコミュニケーションカ
ビジネス日本語Ⅰ (N3・N2レベル 主に理系学生対象 前期集中 1単位)	異文化コミュニケーション基礎論(前期 2単位)
ビジネス日本語Ⅱ (N2・N1レベル 主に文系学生対象 前期集中 1単位)	異文化コミュニケーション論(後期 2単位)
キャリア教育	グローバル地域創生時代のキャリア教育
日本事情0 まちづくりとグローバル・コミュニケーション (前期集中 2単位)	学生のための仕事術 ー多文化共生のまちづくりー (後期 2単位)
日本事情0 グローバル地域創生と企業 (前期集中 2単位)	まちづくりとグローバル・コミュニケーション (前期集中 2単位)
	グローバル地域創生と企業 (前期集中 2単位)
	グローバル地域創生特論 (後期集中 2単位)
インターンシップ	グローバル優良企業でのインターンシップ
日本事情E グローバル・インターンシップ・プログラムⅠ (後期集中 2単位)	グローバル・インターンシップ・プログラムⅠ (後期集中 2単位)
日本事情F グローバル・インターンシップ・プログラムⅡ (後期集中 2単位)	グローバル・インターンシップ・プログラムⅡ (後期集中 2単位)



「まちづくりとグローバルコミュニケーション」の様子 「地域対応型」インターンシップの様子

教育カリキュラム
グローバル・
リーダーシップ・
プログラム

ビジネス 日本語 I・II



学習したビジネス日本語を活用することで、留学生が文化の壁・言葉の壁を低くして、インターンシップを円滑に進めることができるようにすることがねらい。ビジネス日本語 I は桐生、同 II は前橋・高崎で開催予定。

ビジネス日本語 I

- ・上司や同僚と日常的な話題について自然な会話ができるようになる。
- ・企業インターンシップに参加したとき、基本的なビジネスシーンで適切に対応できるようになる。
- ・ビジネスシーンを事例別に取り上げ日本の職場文化の理解を深める。



ビジネス日本語 II



- ・状況にふさわしいコミュニケーションをとり、職場で良好な人間関係を構築できるようになる。
- ・ビジネスシーンで頻繁に遭遇する場面を想定し、必要な対応を自分で判断できるようになる。
- ・ビジネスシーンを事例別に取り上げ日本の職場文化の理解を深める。

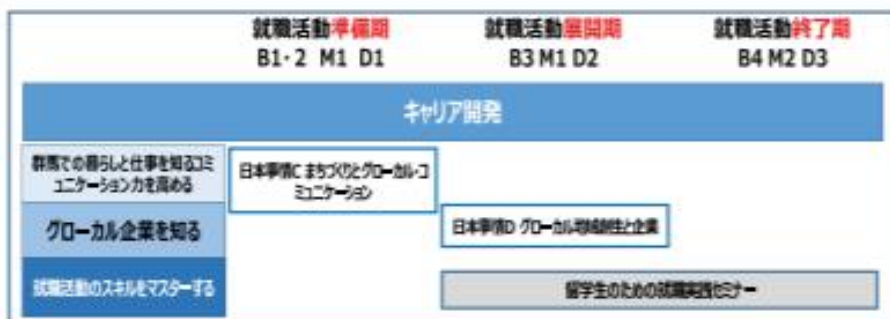
ビジネス日本語 実践フォローアップ



就職活動の具体的な場面を想定し、それぞれの留学生の習得レベルにあわせて、弱点を補完するビジネス日本語セミナー。

教育カリキュラム
グローバル・
リーダーシップ・
プログラム

キャリア開発



日本事情C まちづくりとグローバル・コミュニケーション



企業・行政・地域住民等多様な地域関係者とともに地域活性化のプロジェクトを運営する体験をします。この活動を通して、事業の企画・実践に必要なコミュニケーション力・マナー力・推察力を養成します。



ひとつの目標に向かって地域の多様な人々と力を合わせる体験で、地域の人的ネットワークが広がります。

日本事情D グローバル地域創生と企業

企業と自分を分析し、戦略的に自分に合った企業とのマッチングを図る方法を学びます。

- ・群馬県内のグローバル企業を知る
- ・自分にあったグローバル企業を探す
- ・グローバル企業経営者との対話
- ・グローバル企業訪問



留学生のための就職実践セミナー



就職活動に参加する／した学年に対象を絞り、就職活動に求められる「技術」面としての就職活動に不可欠な準備・心構えの充実・強化を図ります。

教育カリキュラム
グローバル・
リーダーシップ・
プログラム

GHKG 【地域対応型】 インターン シップ・ プログラム

	就職活動準備期 B1・2 M1 D1	就職活動展開期 B3 M1 D2	就職活動終了期 B4 M2 D3
GHKGインターンシップ・プログラム			
地域対応型	日本専修 先-30-インターンシップ1 (2W)		日本専修 先-30-インターンシップ1 (2W)
業界対応型	日本専修 先-30-インターンシップ1 (2W)	日本専修 先-30-インターンシップ1 (2W)	日本専修 先-30-インターンシップ1 (2W)
		日本専修 先-30-インターンシップ1 (2W)	

GHKG「地域対応型」インターンシップ・プログラム in 渋川・伊香保

具体的な「地域」を想定し、その「地域」が目標としている具体的なテーマで、産業の地域における持続可能性とグローバル展開に、留学生を活用する【課題解決型】インターンシップです。主に1～2年生を対象とし、人間力を磨き、プロジェクトに関わる地域内外の企業との接点を高めます。

平成30年度GHKGインターンシップin渋川伊香保では、渋川伊香保温泉観光協会・関越交通(株)・渋川市との連携により、渋川市伊香保温泉地域における、インバウンド観光推進のための「課題解決型」インターンシップを実施しました。
平成30年8月27～31日・9月3～7日。



このインターンシップの成果をもとに、渋川伊香保関係者に提案した様子は、首都圏でのテレビ放送や、地元のラジオ番組でも採り上げられ、多くの反響をいただきました。さらに、平成31年2月には、インターンシップにご協力いただいた渋川市・渋川伊香保温泉観光協会・関越交通(株)の連携で提案が事業化されることが発表されました。渋川伊香保地域の複数のバス路線を自由に乗降できる外国人観光客向けの「エリアバス」と「手ぶら観光」の2つの企画は、大型観光企画「群馬デスティネーションキャンペーン」のプレDCに併せて販売されます。これらの企画の地域への期待が高まっています。留学生も観光業の企画という業種のやりがいも体験できました。



教育カリキュラム
グローバル・
リーダーシップ・
プログラム

GHKG 【業界対応型】 インターン シップ・ プログラム

	就職活動準備期 B1・2 M1 D1	就職活動展開期 B3 M1 D2	就職活動終了期 B4 M2 D3
GHKGインターンシップ・プログラム			
地域対応型	日本専修 九州-北インターンシップⅠ (2W)		日本専修 九州-北インターンシップⅡ (2W)
業界対応型	日本専修 九州-北インターンシップⅠ (2W)	日本専修 九州-北インターンシップⅠ (2W) 日本専修 九州-北インターンシップⅡ (2W)	日本専修 九州-北インターンシップⅡ (2W)

GHKG「業界対応型」インターンシップ・プログラム

具体的な「業界」を想定し、その「業界」に特化した就職活動が展開できるように、初歩から就職までの徹底した指導・支援を行います。平成31年度からは、キャリア教育「グローバル地域創生と企業」と「ビジネス日本語」を受講した、主に3～4年生・大学院生を対象とします。

【平成30年度実績】

GHKG【業界対応型】インターンシップⅠ (主に夏季休業中に実施)

受入企業11社に22名が参加

東洋電装(上海)・(株)ミツバ・(株)アルファ企画・
群馬県産業技術センター・上毛新聞社
水上高原リゾート(株)・嬌恋ホテル・(株)沖データ・
八木工業(株)

GHKG【業界対応型】インターンシップⅡ (夏季休業中に1社1名が終了)

(春季休業中等に実施 受入企業7社に19名が参加)

(有)タイプエス・たくみ(株)・
(株)フジサワ・(株)アルファ企画・関越交通(株)・
日本電産サーボ(株)・(株)成電社

